

防虫 防腐
防カビ 防藻
撥水 UVカット

標準塗り面積(1回塗り)

1.5~2.0㎡
タタミ0.9~1.2枚分

古材などの吸い込みが激しい場合

1.0~1.4㎡
タタミ0.6~0.9枚分

乾燥時間

夏期/約2時間
冬期/約4時間

塗り重ね時間の目安

夏期/1~3時間
冬期/2~5時間

塗りにくいときは
水(5%以内)
でうすめて下さい



汚れて色あせた 木部もきれいに仕上がる

リフォーム塗り替えに最適

水性 ウッドリフォームペイント

注意書きをよく読んでから
使用して下さい。

1/5L

汚れた木部

強い着色力と
高い隠ぺい性

半造膜
タイプ

1回塗り

用途

屋内外の木部・木製品

ログハウス・ウッドデッキ
木戸・木扉・雨戸・羽目板・板壁
ラティス・ガーデン木製品
家具・窓枠・工作品など



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

商品名 水性ウッドリフォームペイント 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル・ウレタン)、顔料、防カビ剤、防腐剤、防虫剤、
防藻剤、撥水剤、紫外線吸収剤、水

特長 ●水性で塗りやすく、低臭タイプの木部保護塗料です。●1回
塗りで、隠ぺい性が高いので、汚れて色あせた木部もきれいに仕上がり、リ
フォーム塗り替えに最適です。●紫外線吸収剤、撥水剤、防カビ剤、防腐剤、防
藻剤配合で木部を劣化から守ります。

用途 ●ウッドデッキ、木扉(板扉)、笠木、羽目板、戸袋、バルコニー、木
戸、家具、窓枠、工作品などの木部全般。●ラティス、トレリス、フェンス、ベンチ
などの木製ガーデンニング製品。※古い木材や旧塗膜のある木材の場合は、下
地処理後に塗装できます。必ず下地処理後に塗装して下さい。※絶えず水がか
かったり、いつも湿っているところ、また室内の床面には適しません。

塗装方法 ①塗る面のゴミ・油分・よごれ・旧塗膜を取り除き、木部の水分
を乾燥させます。木材表面がザラザラしているときは、サンドペーパー
(#280~#320)を木目に沿ってかけます。ヤニはラッカーうすめ液で充分
拭き取ります。②フタを開ける前に、容器をよく振り塗料をよく混ぜます。フタ
に手をそえてマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底
から充分にかき混ぜて均一にします。③ニスステイン用ハケを使って、木目に
沿って塗っていきます。④塗りにくい場合や、泡がのこる場合などは、水で少
しうすめます。(5%以下が目安です)⑤塗装後1日以上充分に乾燥させます。
不十分な場合、水がかかったり、雨や結露などによって、塗膜が流れたり、ハガ
レやシミの原因になることがあります。※表記の乾燥時間は、半硬化(指で軽
くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法 使用した用具は乾かないうちに、新聞紙かボロ布で可
るだけ塗料を拭き取り、水で濡れ洗って下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲、誤
食、いたずらをしないよう注意して下さい。②残った塗料は、フタをし、直射日光
や-5℃以下の場所を避けて保存して下さい。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外に使用しないで下さい。塗料がすでに塗装されて
いる素材や、吸い込みが強い化粧合板には塗れません。食器など直接食べ物と接触するところには
塗らないで下さい。②体調が悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
③目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないように注意して下さい。④塗料がつい
ても支障がない服装で作業をして下さい。⑤天気が良く、湿度の低い日に塗って下さい。また、
塗装中、乾燥中とも5℃以下になるときは塗らないで下さい。⑥塗装中、乾燥中とも換気をよく
して下さい。⑦塗料のかくはんが不足した場合、塗料が均一にならず、隠ぺいや着色が不十分
になります。⑧色の濃い木材に明るい色を塗装した場合や、塗料が浸透しにくい木材の場合や、う
すめすぎたり、うすく塗りすぎると、下地の色が透ける場合があります。その場合は2回塗りして
下さい。⑨塗装する木材の色や吸い込みの割合によって仕上がり時の色・乾燥性などが大きく左右
されますので、あらかじめ目立たない部分、または同種の木材で試し塗りをして、仕上がり時の色・
乾燥性などを確かめてから塗って下さい。⑩防腐剤や防虫剤が塗布や注入された木材に塗装し
た場合、薬剤によっては塗装や仕上がりに悪影響を与える場合がありますので注意して下さい。
⑪塗り面積・乾燥時間・着色力・色相などは、素材・塗り方・気象条件等により多少異なります。⑫表示
の色は印刷のため、実際の色と多少異なります。⑬塗装
したウッドデッキ面などに、塩化ビニル製品(子供用プ
ールやマットなど)を直接置いた場合、塗装面に節が付くな
どの悪影響を及ぼす場合があります。⑭容器は塗料を使
い切ってから捨てて下さい。やむを得ず塗料を捨てる時は、
アサヒペン水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新
聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから捨てて下さい。



危険
●遺伝性疾患のおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

救急処置 ●目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さ
い。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸
気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、
必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水
で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン
大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

日本製
00-1710